

「健康長寿のまち・京都市民会議」発足記念イベント 次第

日 時： 平成28年6月4日（土）
午後1時～午後3時（開場午後0時30分～）
場 所： K B S 京都ホール
主 催： 京都市，健康長寿のまち・京都市民会議（共催）
内 容：

1 主催者挨拶

- (1) 京都市長 門川 大作
- (2) 健康長寿のまち・京都市民会議 会長 森 洋一
(京都府医師会会長)

2 京都市健康大使就任式

3 「健康長寿のまち・京都」の実現に向けたキャッチコピー及びロゴマーク表彰式

4 「食と運動」トークセッション

5 「健康長寿のまち・京都市民会議」会員団体 取組紹介

- (1) 京都府歯科医師会
- (2) 京都府ウォーキング協会
- (3) ピンクリボン京都実行委員会
- (4) 京都精神保健福祉推進家族会連合会
- (5) 京都市高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア
- (6) 京都大学健康科学センター
- (7) 京都市PTA連絡協議会

6 京ことばラジオ体操

- (1) 京都市健康づくりサポーター

イベント終了後，お帰りの際に，
記念トートバックをプレゼント！



京都市健康大使のご紹介

京都市の健康づくり施策に関する「イメージキャラクター」として、イベントへの参加や様々な広報媒体への出演等を通して、あらゆる世代の方々へ、健康づくりの活動を呼びかけていただきます。

【子ども・青少年期の代表】

◎本田紗来（ほんだ さら）ちゃん（9歳）

姉の本田真凜ちゃん・望結ちゃんとともに、フィギュアスケートを通じた健康づくりや、学業とタレント業の両立のため、「早寝早起き・朝ご飯」など、規則正しい生活を実践。

＜プロフィール＞

平成19年4月京都市生まれ。CM等で活躍中の子役タレント。
 昨年の京都府民総合体育大会スケート競技会で2級・幼年女子優勝。



【働く世代の代表】

◎朝原宣治（あさはら のぶはる）さん（43歳）

◎奥野史子（おくの ふみこ）さん（44歳）夫妻

夫婦ともにオリンピックメダリストであり、現在も3人のお子さんとともに、家族ぐるみでスポーツや食生活を通じた健康づくりを実践。

また、朝原さんは奥野さんの子育てと仕事の両立のために積極的に家事や育児を手伝い、「真のワークライフバランス」を実践。

＜プロフィール＞

（朝原宣治さん）

昭和47年6月神戸市生まれ。2008年北京オリンピック400mリレー銅メダリスト。現在は陸上競技指導者・スポーツ解説者として活躍。大阪ガス所属。

（奥野史子さん）

昭和47年4月京都市生まれ。バルセロナ五輪シンクロナイズドスイミング銅メダリスト。現在はスポーツコメンテーターとして、テレビ、ラジオ等に出演。京都市教育委員。



【高齢期の代表】

◎市田ひろみ（いちだ ひろみ）さん（84歳）

堀川高校を卒業、高校時代は陸上競技でインターハイに出場。服飾評論家として国内外で精力的に活躍し、現在も輝く笑顔を絶やさない。

＜プロフィール＞

昭和7年7月大阪市生まれ。重役秘書、女優、美容師などを経て、服飾評論家、エッセイスト、日本和装師会会長として幅広く活躍。緑茶のテレビCMでもお茶の間に親しまれている。

京都府生涯学習審議会委員、おこしやす京都委員会委員長、みやこ子ども土曜塾塾長。

卓越技能者表彰、伝統的工芸品産業功労者表彰等国内外多数受賞。



【高齢期の代表】

◎千玄室（せん げんしつ）大宗匠（93歳）

「一盃からピースフルネスを」の理念を提唱し、国際的な視野で茶道文化の浸透と世界平和を願い、各国を歴訪。現在も、ユネスコ親善大使等の公職を多数務め、国内外で精力的に活躍。

＜プロフィール＞

大正12年4月京都市生まれ。茶道裏千家第15代・前家元。ユネスコ親善大使，日本・国連親善大使，日本国 観光親善大使等。文化功労者国家顕彰，文化勲章，仏レジオン・ドヌール勲章 オフィシエ等，国内外多数受章。京都市名誉市民。



【高齢期の代表】

◎宮崎秀吉（みやざき ひできち）さん（105歳）

105歳にして100メートルを完走し、「世界最高齢のスプリンター」としてギネス世界記録に認定された，まさに京都が世界に誇る「超」健康長寿の達成者。

＜プロフィール＞

明治43年9月静岡県浜松市生まれ。スポーツとは長年無縁であったが，92歳のときに陸上競技を開始。昨年9月，「京都マスタース」で100mを42秒22で完走し，ギネス世界記録に認定。



「健康長寿のまち・京都」の実現に向けたキャッチコピー及び
ロゴマーク最優秀作品、優秀作品（5月9日市民会議総会で決定）

1 キャッチコピー

＜最優秀作品（1作品）＞

「まちぐるみ みんなで健康 いきいき京都」

作品コンセプト：

「地域ぐるみで健康づくりをめざす京都の姿勢」を表現されたものです。
また、「いきいき」という言葉には、「京都の活力と長寿への願い」が込められています。

＜優秀作品（4作品）＞

- ① 「街・人・健康 京から明日へ。」
- ② 「元気と活気 かがやく未来 健康長寿のまち・京都」
- ③ 「ひとが健康 まちが健康 美しく輝く京都」
- ④ 「みんなが主役!! 健康長寿のまち京都」

＜小中学生作品優秀賞（5作品）＞

- ① 「京からはじめよう!! 健康長寿のまちづくり」
- ② 「歩いて健康 京都は名所が 満載だ」
- ③ 「健康への階段を一段ずつ登ろう」
- ④ 「健康長寿は京の財さん」
- ⑤ 「安心・安全・笑顔で長生きできる街 京都」

2 ロゴマーク

<最優秀作品（1作品）>



健康長寿のまち・京都

作品コンセプト：

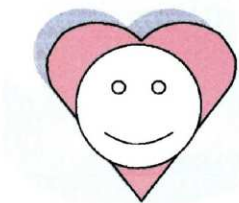
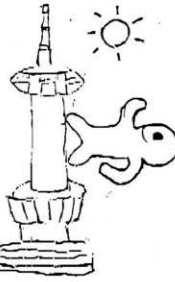
「希望の太陽輝く五山，鴨川の豊かな自然を背景」に，「京」（頭，顔，足）「と（都）」（右手）の文字が組み合わせられたものです。

また，「明るく元気な姿」で「広く親しみ愛されるよう」なデザインとして作成されたものです。

<優秀作品（3作品）>

作品			
----	--	--	--

<小中学生作品優秀賞（5作品）>

作品			
作品			

- (株) エフエム京都
Oh!ばんざい
京都「おやじの会」連絡会
(特非) 京都禁煙推進研究会
京都経営者協会
(一社) 京都経済同友会
(公社) 京都工業会
(一財) 京都工場保健会
京都サイクリング協会
(公財) 京都市音楽芸術文化振興財団
(公社) 京都市観光協会
(公財) 京都市学校給食協会
(公財) 京都市健康づくり協会
京都市健康づくりサポーター
(公財) 京都市芸術文化協会
京都市高齢者筋力トレーニング
普及推進ボランティア
(社福) 京都市社会福祉協議会
(公財) 京都市生涯学習振興財団
(公財) 京都市障害者スポーツ協会
京都市小学校長会
京都市食育指導員
京都市食肉協同組合
(一社) 京都市食品衛生協会
(公社) 京都市私立幼稚園協会
(公社) 京都市シルバー人材センター
(公社) 京都市身体障害者団体連合会
(公社) 京都市児童館学童連盟
京都市スポーツ少年団
(公財) 京都市体育協会
京都市体育振興会連合会
京都市退職校園長会
(公財) 京都市男女共同参画推進協会
京都市地域女性連合会
京都市中央卸売市場協会
京都シニア大学
京都市PTA連絡協議会
(公社) 京都市保育園連盟
京都市保健協議会連合会
京都市民生児童委員連盟
(公財) 京都市ユースサービス協会
京都障害児者親の会協議会
京都商工会議所
京都商店連盟
京都市立中学校長会
(一社) 京都私立病院協会
(一社) 京都市老人福祉施設協議会
(株) 京都新聞社
(一社) 京都精神保健福祉協会
(公社) 京都精神保健福祉推進家族会連合会
京都大学健康科学センター
(公財) 京都中小企業振興センター
(一社) 京都府医師会
(特非) 京都府ウオーキング協会
(公社) 京都府栄養士会
(公社) 京都府看護協会
京都府後期高齢者医療広域連合
京都府国民健康保険団体連合会
(一社) 京都府歯科医師会
(公社) 京都府歯科衛生士会
(一社) 京都府歯科技工士会
京都府宗教連盟
京都府私立中学高等学校連合会
(公社) 京都府助産師会
(公財) 京都府生活衛生営業指導センター
(一社) 京都府専修学校各種学校協会
京都府中小企業団体中央会
(一社) 京都府訪問看護ステーション協議会
(一社) 京都府薬剤師会
京都仏教会
(株) 京都放送
(一財) 京都予防医学センター
(株) 京都リビング新聞社
京都料理組合
京都労働者福祉協議会
(公財) 京都YMCA
健康保険組合連合会京都連合会
(特非) 子育ては親育て・みのりのもり劇場
(一社) 春秋会
すこやかクラブ京都
(一社) 京都市老人クラブ連合会
全国健康保険協会京都支部
(公財) 大学コンソーシアム京都
(特非) つながるKYOTOプロジェクト
(特非) 日本健康運動指導士会京都府支部
(公社) 日本3B体操協会・京都府支部
日本放送協会京都放送局
ピンクリボン京都実行委員会
マミーズアップ
(株) リーフ・パブリケーションズ
(独法) 労働者健康安全機構
京都産業保健総合支援センター
京都市

「健康長寿のまち・京都市民会議」設立趣意書

わが国は、世界でも一番といわれる長寿国となりました。

しかし、「健康上の問題で自立した生活ができない」「健康を実感できない」期間が 10 年前後あるのもまた現実です。

この期間をどうするのかが、ひとびとの「生活の質」にも関わる社会的課題として問われています。この問いにわたしたちはどのように応えればよいのでしょうか。

老いも若きも、障害のあるひともないひとも、病気のひとも健康なひとも、それぞれのライフステージや状況に応じた健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばして、生きがいを実感し、年齢を重ねても、ひとりひとりのいのちが輝き、地域の支え手としても活躍できる、活力ある地域社会に向けたまちづくりを実現していく、これがわたしたちの答えです。

このような思いを共有する団体等が集まり、本日、「健康長寿のまち・京都市民会議」を設立します。

「健康長寿のまち・京都市民会議」は、

- 1 ひとりひとりが主体的に健康づくりに取り組む機運を醸成します。
- 1 ひとりひとりが健康づくりに取り組みやすい環境をつくれます。
- 1 地域、職場、学校で、仲間の輪を広げながら市民みんなで取り組む健康づくり運動をともに盛り上げます。
- 1 健康づくりを通じて、いきいきと活力あるまちづくりを実現します。

平成28年5月9日